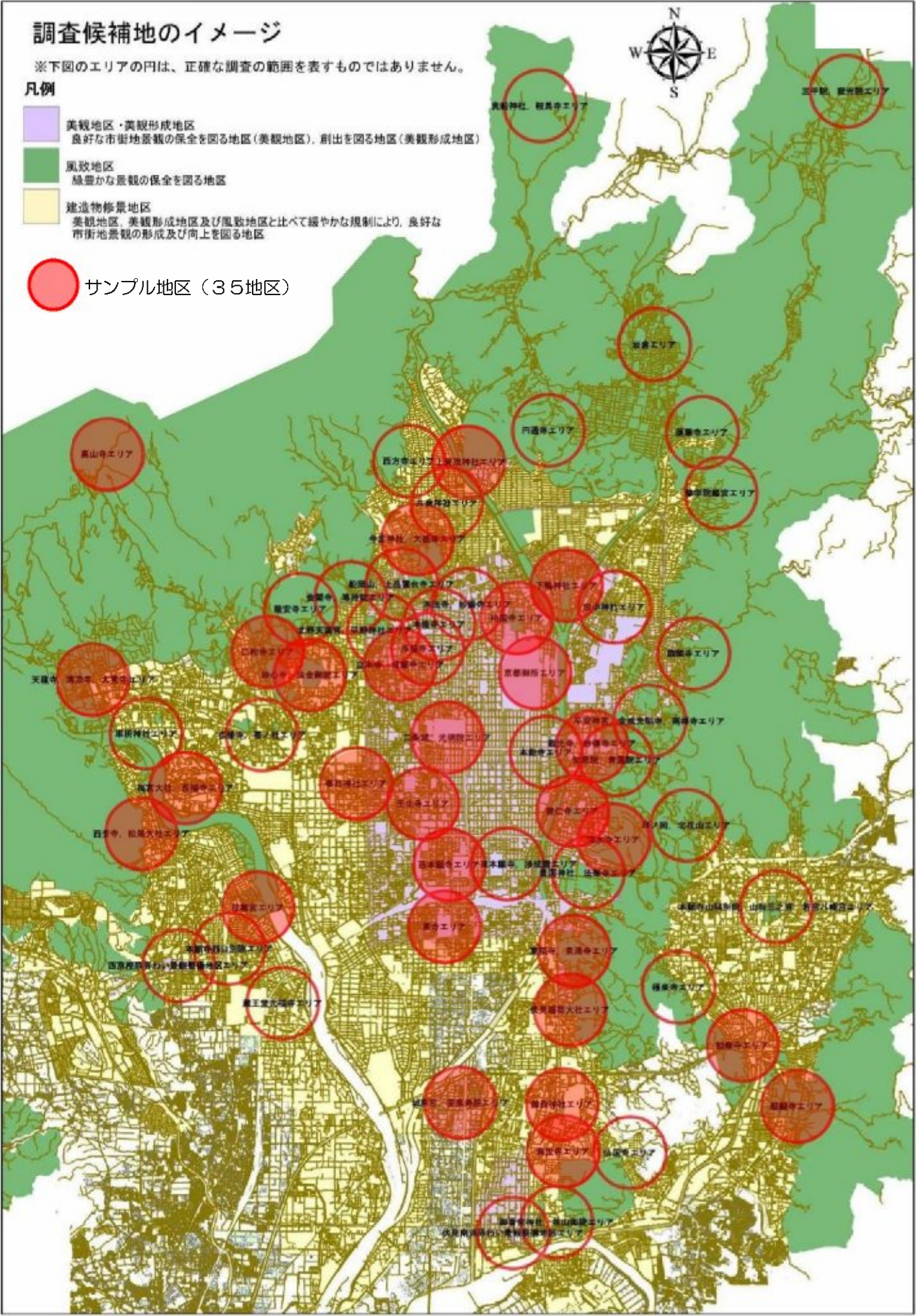


調査対象リスト（61エリア）

※赤で塗りつぶしたエリアが、今回のサンプル地区（35地区）

	エリア名称	主な行政区	ア 世界遺産	イ 眺望景観 創生条例	ウ 大規模な 寺社	エ その他
1	上賀茂神社エリア	北区	○	○		
2	西方寺エリア	北区			○	
3	久我神社エリア	北区			○	
4	今宮神社、大徳寺エリア	北区			○	
5	船岡山、上品蓮台寺エリア	北区			○	
6	金閣寺、等持院エリア	北区	○	○		
7	相国寺エリア	上京区			○	
8	京都御所エリア	上京区		○		
9	本法寺、妙顕寺エリア	上京区			○	
10	本隆寺エリア	上京区			○	
11	浄福寺エリア	上京区			○	
12	北野天満宮、平野神社エリア	上京区			○	
13	立本寺、成願寺エリア	上京区			○	
14	貴船神社、鞍馬寺エリア	左京区			○	
15	三千院、寂光院エリア	左京区			○	
16	岩倉エリア	左京区				○
17	蓮華寺エリア	左京区			○	
18	修学院離宮エリア	左京区		○		
19	円通寺エリア	左京区		○		
20	下鴨神社エリア	左京区	○	○		
21	田中神社エリア	左京区			○	
22	銀閣寺エリア	左京区	○	○		
23	平安神宮、金戒光明寺、南禅寺エリア	左京区			○	
24	寂光寺、妙傳寺エリア	左京区			○	
25	本能寺エリア	中京区			○	
26	二条城、光明院エリア	中京区	○	○	○	
27	壬生寺エリア	中京区			○	
28	知恩院、青蓮院エリア	東山区			○	
29	建仁寺エリア	東山区			○	
30	豊国神社、法華寺エリア	東山区			○	
31	東福寺、泉涌寺エリア	東山区			○	
32	清水寺エリア	東山区	○	○		
33	日ノ岡、北花山エリア	山科区				○
34	本願寺山科別院、山科三之宮、若宮八幡宮エリア	山科区			○	
35	極楽寺エリア	山科区			○	
36	勤修寺エリア	山科区			○	
37	西本願寺エリア	下京区	○	○		
38	東本願寺、涉成園エリア	下京区		○		
39	東寺エリア	南区	○	○		
40	蔵王堂光福寺エリア	南区			○	
41	高山寺エリア	右京区	○	○		
42	龍安寺エリア	右京区	○	○		
43	仁和寺エリア	右京区	○	○		
44	妙心寺、法金剛院エリア	右京区			○	
45	広隆寺、蚕ノ社エリア	右京区			○	
46	梅宮大社、長福寺エリア	右京区			○	
47	車折神社エリア	右京区			○	
48	天龍寺、清涼寺、大覚寺エリア	右京区	○	○		
49	春日神社エリア	右京区			○	
50	西芳寺、松尾大社エリア	西京区	○	○		
51	桂離宮エリア	西京区		○		
52	本願寺西山別院エリア	西京区			○	
53	西京極原界わい景観整備地区エリア	西京区				○
54	伏見稲荷大社エリア	伏見区			○	
55	藤森神社エリア	伏見区			○	
56	海宝寺エリア	伏見区			○	
57	仏国寺エリア	伏見区			○	
58	御香宮神社、桃山御陵エリア	伏見区			○	
59	城南宮、安楽寿院エリア	伏見区			○	
60	醍醐寺エリア	伏見区	○	○		
61	伏見南浜界わい景観整備地区エリア	伏見区				○

調査エリア位置図



指 標 (案)												
属性		①意味性・価値性 ； 歴史的資産(コア)の要素					②可視性・視認性 ； 歴史的資産(コア)との関係			③社会性・状況性 ； 歴史的資産(コア)を取り巻く状況		
		 コア										
景観特性		・ 敷地の規模が大きい(景観の核となり周囲の景観を特徴付けている)					・ 外部から社殿や伽藍が望見できる			・ 寺社が集積している(関連寺社を含む)		
		・ 緑地の規模が大きい(都市緑化の貢献度が高い)					・ 外部から歴史的資産の敷地内の樹木が, 一定の量を持って望見できる			・ 社家町や門前町などの関連の強い景観が形成されている		
		・ 国宝, 重要文化財, 国特別名勝(庭園)・史跡に指定されている					・ 外部から塔などのシンボルの存在が望見できる			・ 参道としての位置付けが明確である		
		・ 境内地において文化財の指定がある建造物が望見できる					・ 内部から市街地や門前などを見下ろせる			・ 界わい景観整備地区等を指定している		
		・ 「京都を彩る建物や庭園」リストへの掲載, 京都遺産の指定がある								・ 規模の大きい祭事が維持されている		
緊急性										・ 寺社と関連する地域組織がある		
		・ 世界文化遺産に指定されるなど注目度が高い					・ 敷地の周囲に目隠しとなるもの(生垣・樹木・塀など)がない			・ 集積する社家や京町家等の消失が進んでいる		
		・ 敷地の地域地区の指定等が緩い					・ 門前や出入口から外部が開けている			・ 門前や出入口(鳥居や山門)の周辺で事業計画(駐車場含む)が進んでいる		
		・ 境内地内の空地の規模					・ 特別名勝などの庭園越しに外部が見える			・ 周囲に広大な敷地がある		
		・ 修繕が必要な外観である					・ 周辺の高度地区の指定が緩い			・ 周囲の地域地区の指定等が緩い		
指標(案)に当てはめた場合の寺社の状況事例について												
		眺望指定	61エリア	モデル地区	寺社名	景観特性			緊急性			
						①意味性・価値性 ； コアの要素	②可視性・視認性 ； コアとの関係	③社会性・状況性 ； コアを取り巻く状況	①意味性・価値性 ； コアの要素	②可視性・視認性 ； コアとの関係	③社会性・状況性 ； コアを取り巻く状況	
山ろく部	世界遺産	○	○	○	1	清水寺	・本堂が 国宝に指定 ・仁王門等が 重要文化財に指定され, 境内からも望見可 ・敷地, 緑地ともに広大	・門や背景の山と一体となった樹木, 塔が望見可 ・山門や奥の院から遠景による望見可(シミュレーション実施)	・伝建地区, 歴史的風土特別保存地区 ・京町家や寺院が集積 ・門前が明確 ・緊急避難広場の協定締結	・世界遺産に指定され注目度も高い ・境内地の空地が小さい [調整, 風致①]	・山門が開けている [12m高度 東大路通沿い:15m高度]	・周辺の歴史的建築物の改変や転用 ・大型駐車場の整備 ・斜面地のため擁壁の整備 [2住居, 歴史美観]
			○	○	2	法観寺(八坂の塔)	・五重塔が重要文化財に指定され, 広範囲にわたって望見可	・広範囲にわたって五重塔(シンボル)が望見可 (・塔内部の拝観は要予約であり, 塔からの眺望は想定されない。)	・東, 北側:伝建地区 ・西:八坂通に店舗等が連続する	・境内地の空地が小さい [2住居, 伝建]	・伝建地区からの見え方と美観地区からの見え方に違い [12m高度 東大路通沿い:15m高度]	・「守っていききたい歴史的景観」の提案が多数→シンボル性が高い [2住居, 西側:歴史美観]
		○	○		3	上賀茂神社	・本殿他36棟は重要文化財に指定され, 境内からも望見可 ・敷地, 緑地ともに広大	・大きな鳥居と樹木が望見可	・上賀茂郷伝統的建造物群保全地区や上賀茂郷界わい景観整備地区に指定し, 社家町が残る ・神山地域の緑と一体的な景観形成 ・「葵祭」の開催 ・緊急避難広場の協定締結	・世界遺産に指定され注目度も高い ・境内地の空地が大きい [調整, 風致①②]	・敷地際から, 西側の中高層建築物が木々の間から望見される [12m高度]	・社家等大規模な建物が, 高齢化等で維持管理が困難になり, 界わい景観整備地区では, 少しずつ社家が消失し, 建て替えが進む [1低層, 西側:1住居]
		○	○		4	高山寺	・石水院は 国宝に指定 ・如法経塔, 宝篋印塔は 重要文化財に指定	・山中の緑と一体となり確認できない	・高山寺及び高雄保勝会の災害発生時における活動協力 ・緊急避難広場の協定締結	・世界遺産に指定され注目度も高い ・境内地の空地が小さい [調整, 風致①]	・緑が開けたところから, 周辺の山が望見される [風致8m]	・市街化調整区域内であり, 開発の恐れはない [調整, 風致①]
		○	○		5	仁和寺	・金堂は 国宝に指定 ・二王門, 御影堂, 五重塔他9棟は重要文化財に指定され, 境内からも望見可 ・仁和寺庭園, 御室(サクラ)は国名勝に指定 ・敷地, 緑地ともに広大	・二王門(シンボルの)と大規模な塀が望見可	・新しいが参道がある ・御室の山の緑と一体 ・双ヶ岡の緑と連続 ・地域景観づくり協議会が活動 ・緊急避難広場の協定締結	・世界遺産に指定され注目度も高い ・境内地の空地が大きい [調整, 風致①]	・二王門から参道や双ヶ岡が望見される [風致10m]	・門前付近に大規模な未利用地がある [1低層 きぬかけの道:1住居, 風致③]
		○	○		6	西芳寺	・庭園は 国名勝 ・湘南亭は重要文化財に指定 ・敷地, 緑地ともに広大	・小さな門と樹木が望見可	・西山の緑と一体 ・周辺に寺社や古民家が集積	・世界遺産に指定され注目度も高い ・境内地の空地が小さい [調整, 風致①]	・斜面地の擁壁が木々の間から望見される。その他, 住宅の屋根がわずかに望見される。 [10m高度]	・南側での擁壁設置を伴う住宅開発 [1低層, 風致② 東の古民家の集積地:山ろ修景]

		眺望指定	61エリア	モデル地区	寺社名	景観特性			緊急性		
						①意味性・価値性　；　コアの要素	②可視性・視認性　；　コアとの関係	③社会性・状況性　；　コアを取り巻く状況	①意味性・価値性　；　コアの要素	②可視性・視認性　；　コアとの関係	③社会性・状況性　；　コアを取り巻く状況
山ろく部	世界遺産	○	○		7醍醐寺	・三宝院殿堂、三宝院唐門、三宝院宝篋印塔他3棟は重要文化財に指定 ・敷地、緑地ともに広大	・堀と樹木(松並木)が望見可	・町家が残る(旧奈良街道) ・南側に伝統的な民家が集積 ・緊急避難広場の協定締結	・世界遺産に指定され注目度も高い(金剛王院とも) ・境内地の空地が大きい [調整、風致① 金剛王院:1中高,風致②]	・西門から中高層建築物、南門から低層住宅が望見される。 ・南側の隣接する小学校の建物が望見される [風致10m]	・街道沿いや南側集落の町家が消失 ・山際の宅地開発、住宅開発が進む [2中高,風致③ 金剛王院:1中高, 山ろ修景]
	世界遺産以外		○	○	1伏見稲荷大社	・本殿、楼門等が重要文化財に指定され、境内からも望見可 ・敷地、緑地ともに広大	・楼門(鳥居)や樹木が望見可 ・稲荷山から西の市街地が望見可	・歴史的風土特別保存地区 ・稲荷山の緑地と連続 ・参道、本町筋に町家が多数残り、賑わいがある ・氏子域が広い	・外国人が選ぶ人気観光地2年連続1位で注目度が高い ・境内地の空地が大きい [1中高又は1低層、風致①③⑤]	・本殿、楼門から参道や近景が望見可 ・稲荷山から遠景による望見可 [10m高度 本町筋周辺:15m高度]	・観光客の増加に伴い、用途変更する建物の増加 [1中高又は1低層、山ろ美観 本町筋:近商、山ろ美観(けらばと生垣が必要)]
			○	○	2松尾大社	・本殿が重要文化財に指定 ・敷地、緑地ともに広大	・鳥居や樹木が望見可 ・南に延びる参道から周辺の町並みが望見可	・松尾山、桂川の緑地と連続 ・南側の参道が残る。 ・緊急避難広場の協定締結 ・氏子域が広い ・規模の大きな祭りがある松尾祭(神輿渡御祭)	・境内地の空地が小さい [調整又は1低層、風致①③]	・樹木の間から僅かに望見可 [10m高度 嵯峨街道沿い:12m又は15m高度]	・特に北側で宅地開発が進んでいる [1低層、嵯峨街道沿い:1中高、山ろ修景 参道:風致③⑤]
		○	○		3金戒光明寺	・山門他3棟は府指定文化財に指定 ・三重塔が重要文化財に指定 ・敷地、緑地ともに広大	・丘陵として樹木を望見可 ・境内(茶室 澁肴席)が古くからの景勝地(大阪を望む)	・塔頭寺院が集積 ・岡崎本願寺や岡崎神社、真如堂と近接	・境内地の空地が小さい ・平地の一部が駐車場として利用 [1低層、風致②]	・見下ろしで中・遠景を望む [10m高度]	・丘陵地にあり周辺の影響が及ばない [1低層、山並美観]
				○	4南禅寺	・南禅寺方丈・三門は重要文化財に指定され、境内からも望見可 ・方丈庭園は国名勝に指定 ・敷地、緑地ともに広大	・山門(シンボルの)や樹木が広範囲にわたって望見可 ・三門からの眺めが有名	・塔頭寺院の他、大規模邸宅及び庭園が集積 ・東山の緑と一体 ・水路閣(近代遺産)あり ・緊急避難広場の協定締結	・境内地の空地が大きい ・国の重要な文化的景観に指定されるなど規制は厳しい [調整、風致①]	・遠景に市街地が望見される [風致10m]	・周辺の別荘群の維持が課題 [1低層又は2中高、風致③]
					5東福寺	・三門と竜吟庵方丈は国宝に指定 ・偃月橋、客殿(普門院)、楼門、開山堂・昭堂他13棟は重要文化財に指定され、境内からも望見可 ・本坊庭園は国名勝に指定 ・敷地、緑地ともに広大	・大きな山門と樹木が広範囲にわたって望見可	・塔頭寺院が集積 ・東山の緑と一体 ・文化財を守る東福寺地域連絡会 ・緊急避難広場の協定締結 ・本町筋に町家が残る	・境内地の空地が大きい [調整、風致①] ・紅葉の名所で注目度が高い	・境内からは周辺のものとは望見されないが、参道からは中層建築物が望見可 ・門からは見下ろす形で周辺の中高層建物が望見される [風致15m]	・周辺に住宅地が広がる [1低層又は1中高、風致②⑤]
				○	6勧修寺	・書院は重要文化財に指定 ・敷地、緑地ともに広大 ・庭園は、市指定名勝	・堀(一部ブロック堀)と樹木が東山と一体となって望見される ・庭から東の山が望見可	・八幡神社、西念寺など小規模寺社が集まる。周辺の街道に古民家が集積している。 ・大岩街道 ・勧修寺協力会	・境内地の空地が小さい [1低層、風致③]	・高速道路が木々の間から望見される [風致10m 東側:15m高度]	・大岩街道は大型車の通行が多く、沿道には廃車置き場が点在 [1低層、風致③ 東側:2中高、町並修景]
				○	7大覚寺	・客殿(対面所)、宸殿は重要文化財に指定 ・敷地、緑地ともに広大	・樹木(こんもりとした森)や生垣が望見される	・大沢池(国名勝)の他、田畑などが残る ・門前に大規模な伝統的民家が残る	・境内地の空地が大きい [調整、風致①]	・境内の樹木により周辺はほぼ望見されない [風致10m]	・大規模な敷地が多い ・歴史的風土保存区域内 ・農地から低層集合住宅への転用がすすむ [1低層、風致②]
市街地	世界遺産	○	○	○	1東寺	・五重塔、金堂等が国宝に指定 ・南大門、東大門が重要文化財に指定され、境内からも望見可 ・敷地、緑地ともに広大	・門や堀、塔(シンボル)が広範囲にわたって望見可	・国道、東側(猪熊通)に京町家が残る。＝界わい景観整備地域 ・緊急避難広場の協定締結 ・弘法さんでにぎわう	・世界遺産に指定され注目度も高い ・境内地の空地が大きい [1住居、歴史美観]	・九条通沿いの高層建築物が望見可 ・南大門から店舗が望見可 [15m高度 九条通りの一部20m高度]]	・周辺部(西側、東側)で戸建住宅の建替えが進んでいる [1住居 九条通:商業 大宮通:近商、歴史美観]
		○	○		2下鴨神社	・本殿他34棟は重要文化財に指定され、境内からも望見可 ・神社境内が国名勝に指定 ・敷地、緑地ともに広大	・大規模な鳥居、樹木(こんもりとした森)が望見される	・社家がわずかに残る ・明確な参道がある ・「葵祭」が開催 ・文化財市民レスキュー ・緊急避難広場の協定締結	・世界遺産に指定され注目度も高い ・境内地の空地が大きい ・一部駐車場として使用 [調整、風致③]	・敷地際の木々の間から周辺の住宅が望見される。 [10m高度 下鴨本通は15m高度]	・下鴨本通は少しずつ中層建築物に更新されている [1低層 下鴨本通:2住居、歴史美観]

	眺望指定	61エリア	モデル地区	寺社名	景観特性			緊急性		
					①意味性・価値性　；　コアの要素	②可視性・視認性　；　コアとの関係	③社会性・状況性　；　コアを取り巻く状況	①意味性・価値性　；　コアの要素	②可視性・視認性　；　コアとの関係	③社会性・状況性　；　コアを取り巻く状況
市街地	世界遺産	○	○	3	二条城	・大規模な門、堀や堀、樹木が広範囲にわたって望見される ・天守閣跡からは、東山等も望見可	・北側、西側に京町家が残る ・周囲はランニングスポットして利用 ・緊急避難広場の協定締結	・世界遺産に指定され注目度も高い ・境内地の空地が大きい [1住居, 歴史美観]	・門や樹木が少ないところからは周辺の中高層建築物が望見される [15m高度]	・大規模な敷地がある ・用途地域の指定が比較的緩い [1住居 東側: 商業又は近商, 歴史美観]
		○	○	4	西本願寺	・門(シンボルの), 大規模な堀や伽藍が広範囲にわたって望見される	・東側に門前町が残る(本願寺・東寺界わい景観整備地区) ・緊急避難広場の協定締結	・世界遺産に指定され注目度も高い ・境内地の空地が大きい [近商, 歴史美観]	・堀川通りの高層建築物の屋根が望見される(堀川通りの幅員が広い) [15m高度]	・用途地域の指定が比較的緩い ・少しずつ町家が消失 [商業又は近商, 歴史美観]
	世界遺産以外	○	○	1	相国寺	・本堂が重要文化財に指定 ・裏方丈庭園が市名勝に指定 ・敷地、緑地ともに広大	・堀や樹木が望見可	・京都御苑や大学の緑地等と連続	・境内地の空地が小さい [2中高, 風致⑤]	・大学(設備等)や烏丸通沿いの中層建築物望見可 [15m高度 烏丸通沿い: 20m高度]
		○	○	2	大徳寺	・唐門が国宝に指定され、境内からも望見可 ・法堂、塔頭等が重要文化財に指定され境内からも望見可 ・方丈庭園等が国の特別名勝に指定 ・敷地、緑地ともに広大	・塔頭寺院や堀、樹木、竹林が広範囲にわたって望見可	・今宮神社や船岡山との緑の連続性 ・周辺に景観重要建造物にも指定されている京町家が残る ・緊急避難広場の協定締結	・境内地の空地が小さい [1低層, 風致③]	・方丈庭園、境内の通路から大宮通や北大路通りの中層建築物が望見可 [15m高度]
		○	○	3	今宮神社	・敷地、緑地ともに広大	・鳥居、樹木が望見可 ・樹木は区民誇りの木、保存樹に指定	・大徳寺との連続 ・南側参道が明確(船岡山へ続く) ・氏子域が大きい ・やすい祭	・境内地の空地が小さい [1低層, 風致③]	・鳥居の前から周辺の町並みを望見可 [15m高度]
		○	○	4	京都御苑	・敷地、緑地ともに広大 ・皇室用財産 ・市民は公園として利用	・外部から樹木が望見可 ・東の門から東山が望見可 ・敷地内から東山が望見可	・東側には梨木神社を含め寺社が集積	・敷地の空地が大きい [地区計画, 歴史美観]	・出入口付近からは周辺の中高層建築物が望見される [15m高度]
		○		5	本法寺	・庭園は国名勝に指定	・伽藍と樹木が望見可	・妙顕寺、妙覚寺など寺院が集積 ・千家(重要文化財、国名勝有)が並ぶなど上京小川歴史的景観保全修景地区に指定 ・町家が多く残る	・境内地の空地が小さい [1住居, 旧市美観]	・堀川通沿いの高層建築物が望見される [15m高度 堀川通沿い: 20m高度]
		○		6	立本寺	・本堂・刹堂他3棟は市指定文化財に指定	・門や堀が望見可	・成願寺、大將軍八神社など中小規模の寺社が数多く立地 ・町家が数多く残る ・桜が大きく、花見に人が集まる	・境内地の空地が大きい(福祉施設を建設中) ・伽藍の傷みが激しい [準工, 旧市美観]	・住宅地に囲まれ、周囲の低層建物が望見できる [15m高度]
		○		7	北野天満宮	・本殿等7棟は重要文化財に指定され、境内からも望見可 ・絵馬所ほか3棟は市指定文化財 ・御土居は市史跡に指定	・大鳥居(シンボルの)と参道、樹木が望見可	・京町家が集積(上七軒は、上京北野界わい景観整備地区に指定) ・毎月1回「天神祭」が開催 ・文化財市民レスキュー ・緊急避難広場の協定締結	・境内地の空地が大きい [2中高, 風致⑤]	・出入口から周辺の住宅や今出川通り沿いの低層建築物が望見される [15m高度 今出川通沿い: 20m高度]
		○		8	平野神社	・本殿は重要文化財に指定され、境内からも望見可 ・拝殿及び南門は府指定文化財 ・サクラが有名	・鳥居と樹木が望見可	・文化財消防応援体制 ・平野桜保存会	・境内地の空地が大きい [2中高, 風致⑤]	・桜園等から周辺の中層建築物が望見される [15m高度]

		眺望指定	61エリア	モデル地区	寺社名	景観特性			緊急性		
						①意味性・価値性　；　コアの要素	②可視性・視認性　；　コアとの関係	③社会性・状況性　；　コアを取り巻く状況	①意味性・価値性　；　コアの要素	②可視性・視認性　；　コアとの関係	③社会性・状況性　；　コアを取り巻く状況
市街地以外		○		9	平安神宮	・敷地、緑地ともに広大 ・大極殿他6棟は重要文化財、神苑は国名勝に指定	・外部から門(シンボルの)や塀が望見可	・参道が明確(松並木と大鳥居(国登録)) ・文化施設が集積 ・周辺も含め国の重要文化的景観に指定 ・「時代祭」が開催 ・緊急避難広場の協定締結	・境内地の空地が大きい ・地区計画 ・国の重要文化的景観への指定があるなど規制は厳しい [2住居、風致⑤]	・周辺の建物は望見されない [丸太町通沿い及び東側:15m高度]	・岡崎エリアは国の重要文化的景観に指定 [2住居、風致③⑤　丸太町通沿い：山並美観]
		○		10	壬生寺	・大念仏堂(狂言舞台)は重要文化財に指定 ・庭園は、市指定名勝	・外部から塀と伽藍が望見可	・郷土の家と京町家が集積 ・壬生狂言	・境内地の空地が大きい(高齢者福祉施設、幼稚園がある) [準工、市街地美形]	・敷地内の施設により、周辺の建物はほとんど視認できない ・高齢者施設が周辺から望見される [20m高度]	・周辺の地域地区の指定が緩い [準工、市街地美形]
		○		11	建仁寺	・方丈及び勅使門は重要文化財に指定され、境内からも望見可 ・霊洞院庭園が国名勝に指定	・外部から塀や樹木が望見可	・八坂通や祇園の花街で町家が集積(祇園町南歴史的景観保全修景地区)	・境内地の空地が大きい [近商、風致⑤]	・境内、塔頭寺院から大和大路の高層建築物が望見される [12m高度　南側:15m高度]	・町家が建て変わっていつている [西側:商業、旧市美観]
		○		12	妙心寺	・本堂他13棟が重要文化財、庭園が国名勝である他、塔頭寺院やその庭園も国指定多数あり、境内からも望見可 ・塔頭寺院も含め国史跡に指定	・大きな門と塀、及び敷地の高木が広範囲にわたって望見可	・一条通や妙心寺道に町家が残る(一部国登録に指定)	・境内地の空地が小さい(通路として使用されている) [1低層、風致③]	・一部、敷地際で周辺の中層建築物が望見される [通り沿いや東側:12m高度又は15m高度]	・一部地域地区の指定が緩い [通り沿い:近商　東側:1中高、山ろ修景又は山並修景]
		○		13	梅宮大社	・本殿、拝殿や楼門などは府登録文化財 ・カキツバタが有名 ・奈良時代の建立	・鳥居や社殿、樹木(平地にあってこんもりとした森)が望見可	・「神幸祭」が維持されている	・境内地の空地が小さい [1中高、風致⑤]	・庭園や参道から周辺の中層建築物が望見される [15m高度]	・大規模な農地や駐車場がある ・周辺の地域地区の指定が緩い [1中高、岸辺修景]
		○		14	春日大社	・平安時代初期の建立	・狭い間口から鳥居や玉垣、樹木が望見可	・「春日祭」が維持されている。 ・地域の催事にも使用されている	・境内地の空地が大きい [準工、町並修景]	・南側の中層建築物が望見される [20m高度]	・周辺の地域地区の指定が緩い [準工、町並修景]
	○	○		15	桂離宮	・敷地、緑地ともに広大 ・皇室用財産 ・日本庭園として最高の庭と呼ばれる	・樹木(こんもりした森)や桂垣が望見可	・町家が点在する。 ・桂川の緑地との連続	・境内地の空地が小さい [1低層、風致②]	・敷地際の木々の間から周辺の建物や設備が望見される [15m高度]	・農地が住宅地へと転用されている ・桂川街道が開通 [1低層、風致③　桂川街道沿い一部:1中高、風致⑤又は岸辺修景]
		○		16	藤森神社	・境内社大將軍社社殿及び八幡宮本殿は重要文化財に指定 ・本殿・幣殿は市指定文化財	・道路に面したところからは、鳥居や樹木が望見可	・「藤森祭」(駄馬神事など)が維持されている ・氏子域が広い	・境内地の空地が大きい(一部市公園として利用) [1中高、風致⑤]	・参道、境内又は木々の間からマンションが見える [15m高度、西側の大学:20m高度]	・周辺の地域地区の指定が緩い [1中高　本町筋:近商、山ろ修景]
		○		17	海宝寺	(寺地は伊達家の居館跡といわれ、方丈前に豊臣秀吉遺愛の手水鉢があるなど、歴史ある寺院である)	・伽藍と樹木が望見される。	・桃山御陵の緑やわずかに残る田畑の緑との連続 ・町家が点在する	・境内地の空地が小さい ・一部駐車場として使用されている [1低層、山ろ修景]	・微高地にあるため、周辺の建物は望見されない [10m高度]	・戸建て住宅が広がっている [1低層、山ろ修景]
		○		18	城南宮	・敷地、緑地ともに広大	・鳥居や樹木(平地にあってこんもりとした森)が望見可	・田畑が残る ・「曲水の宴」で有名な庭園	・境内地の空地が小さい [1住居、2住居、風致⑤]	・周辺の高層建築物が庭園から望見される [20m高度]	・大規模な農地や駐車場がある ・用途等の規制が比較的緩やかでかつ景観規制はない [1住居]

※表中の地域地区等については、下表の略称を用いる

名称	略称	名称	略称	名称	略称	名称	略称	名称	略称
風致地区第1種地域	風致①	山ろく型美観地区	山ろ美観	市街地型美観形成地区	市街地美形	市街化調整区域	調整	第二種住居地域	2住居
風致地区第2種地域	風致②	山並み背景型美観地区	山並美観	沿道型美観形成	沿道美形	第一種低層住居専用地域	1低層	準住居地域	準住居
風致地区第3種地域	風致③	歴史遺産型美観地区	歴史美観	山ろく型建造物修景地区	山ろ修景	第二種低層住居専用地域	2低層	近隣商業地域	近商
風致地区第4種地域	風致④	岸辺型美観地区	岸辺美観	山並み型建造物修景地区	山並修景	第一種中高層住居専用地域	1中高	商業地域	商業
風致地区第5種地域	風致⑤	旧市街地型美観地区	旧市美観	岸辺型建造物修景地区	岸辺修景	第二種中高層住居専用地域	2中高	準工業地域	準工
伝統的建造物群保存地区	伝建	沿道型美観地区	沿道美観	町並型建造物修景地区	町並修景	第一種住居地域	1住居	工業地域	工業

高度地区については以下の例に倣い、略称を用いる
例) 15m第一種高度地区 → 15m高度
また、表中 [風致10m]と標記があるものは、風致地区条例により高さが規定される場合を記す。